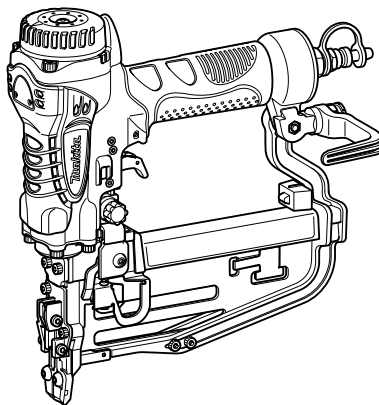
取扱説明書

高圧フロアタッカ

モデル　AT450H

このたびは**高圧フロアタッカ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

主要機能

主要機能 ＼ モデル	AT450H
使用空気圧力	0.98 ～ 2.26MPa（10 ～ 23kgf/cm^2）
使用ステープル	MA 線　幅 4mm ×長さ 25 ～ 50mm
ステープル装てん数	1 連　84 本 最大 105 本
質量	1.4kg
本機寸法	長さ 261mm ×幅 115mm ×高さ 269mm
使用ホース内径	高圧用エアホース　φ5.0mm 以上

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPB148-2

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
   - 本機の取り扱い知識が不十分な場合、事故の原因になります。
2. 次のときは、本機を使用しないでください。
   - 事故の原因になります。
     ○疲れているとき、身体が不調なとき。
     ○酒類や薬物を飲んで正常な操作ができないとき。
3. 保護メガネ、耳栓を装着し、また作業環境に応じてヘルメットなども着用してステープル打ち作業をしてください。
   - 装着しないと打ち損じのステープルで目などにけがをしたり、排気音で耳を痛める原因になります。
4. 揮発性可燃物（ガソリン・シンナーなど）の近くでは使用しないでください。
   - ステープルを打ち込むときの火花で火災を起こす恐れがあります。
5. ステープル打ち作業以外の用途には使用しないでください。
   - 事故の原因になります。
6. 本機に刻印や溶接等の改造をしないでください。
   - 外枠が破損し、けがの原因になります。
7. 動力源は圧縮空気を使用してください。
   - 圧縮空気以外のガス（プロパン、アセチレン、酸素など）を用いると爆発する恐れがあります。
8. 圧縮空気の圧力は銘板に記載の範囲内で使用してください。
   - 高過ぎる圧力は、損傷による事故の原因になります。
9. エアホースをつなぐときは、トリガに指をかけないでください。
   - 誤って発射された場合に事故の原因になります。
10. 必ず射出口を確実に材料に当ててトリガを引いてください。
    - 誤って発射した場合に事故の原因になります。
11. トリガに指をかけたまま持ち運んだり、手渡しなどをしないでください。射出口を人に向けたり、手足を射出口付近に近づけたりしないでください。
    - 誤って発射した場合に事故の原因になります。

⚠警告

12. 次の場合は、本機からエアホースをはずしてください。

・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。
　〇修理する場合。
　〇ステープルを装てんする場合、また取り出す場合。
　〇作業中、本機を持って移動する場合。
　〇点検整備をする場合。
　〇その他事故が予想される場合。

13. 足場を使って作業する場合、常に足場をしっかりさせ、バランスが保てる姿勢で作業してください。

・ 足場が不安定だと事故の原因になります。

14. 屋根などで作業をするときは、前進しながら打つようにしてください。

・ 後退しながら打つと足を踏みはずし、事故の原因になります。

15. 近くに人がいないことを確認してから作業を始めてください。

・ 打ち損じのステープルなどがあたりけがをする原因となります。

16. 壁の内、外側からの同時作業はしないでください。

・ ステープルが突き抜けたりそれたりしたとき、事故の原因になります。

17. 高所での作業のときは、ホースの固定箇所を設けてください。

・ 不意に引っ張られたり、引っかかったりしたとき、事故の原因になります。

⚠注意

1. 裾や袖の締まりのよい服装をしてください。
- 袖口や裾の開いた衣服などで作業しますと、事故の原因になります。

2. 作業場は、いつも明るくきれいにしてください。
- 暗かったり、ちらかったところでの作業は事故の原因になります。

3. 使用前に、部品が損傷していないか、ボルトがゆるんでいないかを点検してください。
- 不完全な本機を使用すると、事故の原因になります。

4. 作業中は、本機に顔などを近づけないでください。
- ステープルの上や木の節などに当たった場合、本機が大きく反動し、けがをする原因になります。

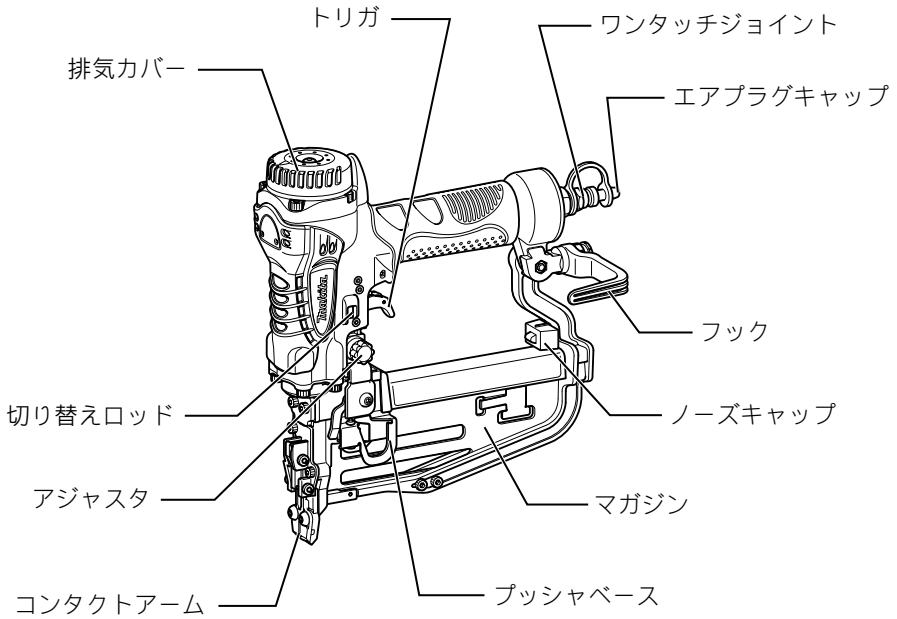
5. 作業する箇所に電線管やガス管などの埋設物がないことを確かめてください。
- 埋設物を損傷すると感電やガス漏れ事故の原因になります。

6. 作業中に本機の調子が悪くなったり、異常に気づいた場合には、ただちに使用を中止してください。
- そのまま使用していると事故の原因になります。

7. 本機およびコンプレッサは、空気充てんのまま長時間直射日光に当てて放置しないでください。
- 本機及びタンク内の高圧の空気がさらに高圧になり、事故の原因になります。

8. 本機の握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ってください。
- 握り部が滑りやすいとけがの原因になります。

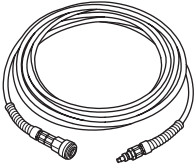
9. いつも安全に能率よくご使用いただくために、定期点検をおすすめします。点検修理は、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因となります。

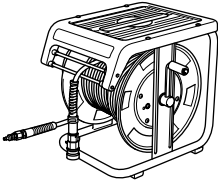
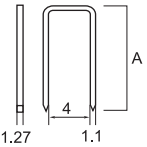
各部の名称および標準付属品

標準付属品

- セーフティゴーグル（保護メガネ）
- 油サシ
- プラスチックケース
- ノーズキャップ（平打用）
- 六角棒レンチ

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、裏表紙掲載の当社営業所へお問い合わせください。

・ 高圧スリックホース
10m 巻　部品番号　A-46280
20m 巻　部品番号　A-46296
30m 巻　部品番号　A-46305

・ 高圧タフリール（本体のみ）
部品番号 A-49242

・ 高圧タフリール 30M
部品番号 A-49220

・ スプレーオイル
部品番号 A-46121

別販売品のご紹介

・　MA 線フローリングステープル

種類	ステープル（幅 4mm）				
材質	鉄				
形状	A 4 1.27　1.1				
A（長さ）mm	25	32	38	45	50
部品番号	F-81547	F-81550	F-81563	F -81576	F -81589
形式	425MAF	432MAF	438MAF	445MAF	450MAF
連結本数	84				
1 ケース入数	3024				

使い方

ご使用前の確認

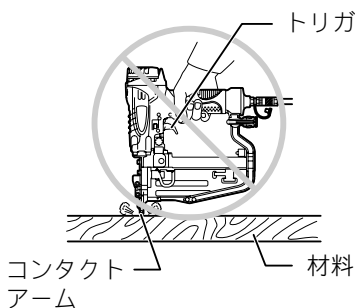
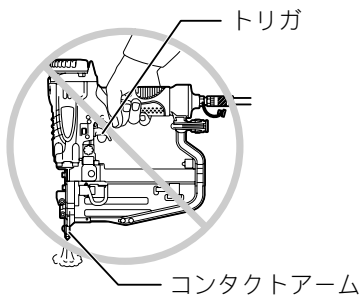
⚠ 警告
安全装置に異常がある場合は使用しないでください。 ・ そのまま使用すると事故の原因になります。異常があるときはお買い上げの販売店または裏面掲載の当社営業所にお申し付けください。

・ 本機はトリガとコンタクトアームの両方を作動させないとステープルが発射されない構造になっています。ステープルを打つ作業に入る前に安全装置に異常がないかを下記の手順で確認してください。

1. 作業にはいる前に本機にステープルが装てんされていないことを確認してください。
2. 切替ロッドを「FREE」の位置にしてください。（P 13 参照）
3. 本機にエアホースを接続します。
4. まずトリガだけを引いてください。次にトリガから指を離しコンタクトアームを材料に押し当ててください。
5. 上記 4 の操作で本機が作動する場合は安全装置が異常です。

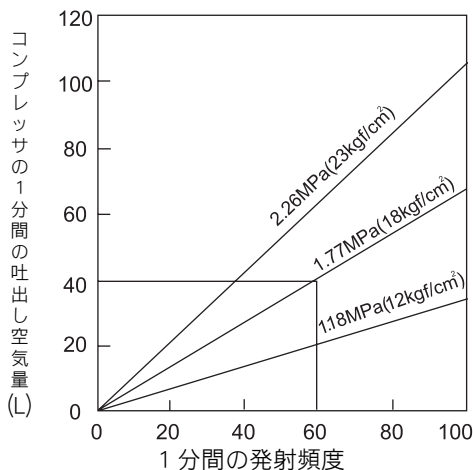
異常例

・ トリガだけを引いて作動する場合

・ トリガから指を離し、コンタクトアームを押し当てると作動する場合

使い方

コンプレッサの選定について

・　本機を能率よく使用されるために、コンプレッサの最高圧力と吐出し空気量は余裕のあるものを使用してください。コンプレッサを選定される時は図を参考にしてください。

・　図は本機での発射頻度、使用圧力とコンプレッサの吐出し空気量の関係を示します。たとえば、使用圧力が 1.77MPa(18kgf/cm²) で発射頻度が 1 分間に約 60 回ですと、吐出し空気量 40L/min 以上のコンプレッサが必要です。

エアホースの選定について

⚠ 警告
本機は使用圧力を一般圧のタッカより高く設定しています。高圧用のエアホースを使用してください。

・　連続作業を効率よく行うためにエアホースは太く短い物を使用してください。

※　内径 φ5mm 以上、長さ 30m 以下のエアホースを使用する事を目安に選定してください。

注

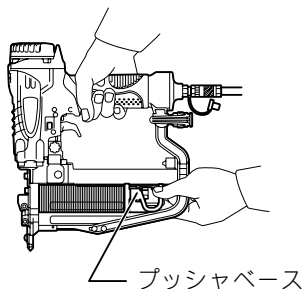
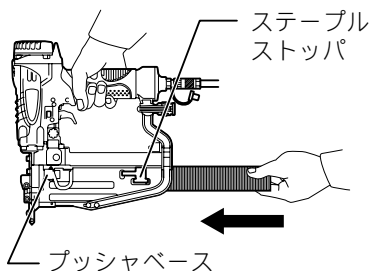
・　**釘の発射頻度にくらべエアコンプレッサの吐出量が少ない場合や、エアホースの内径が細いか、長さが長すぎる場合は、打ち込み力が低下します。**

使い方

ステープルの入れ方

⚠警告
ステープルを装てんする際は、必ずトリガをロックしてエアホースをはずしてください。

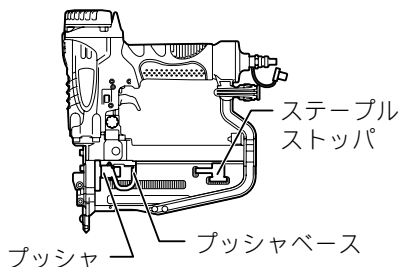
・ トリガをロックしてエアホースをはずします。
・ ステープルをマガジン後方からステープルストッパを超える位置まで入れます。ステープルは１連（84 本）入ります。

・ プッシャベースをマガジン最後方まで引っ張り、静かに戻します。

注

・ プッシャベースを戻す際、プッシャを押したまま行うとステープルがセットされません。装てんはプッシャを押さずに行ってください。
・ プッシャベースを急に放すとプッシャが急激に戻りステープルが変形したり、ばらばらになりステープル詰まりの原因となります。プッシャベースは静かに戻してください。

ステープルの抜き取り方

⚠警告
ステープルを抜き取る際は、必ずトリガをロックしてホースをはずしてください。

・ トリガをロックして（P 13 参照)、エアホースをはずします。
・ マガジン後方を下にして、プッシャベースを少し引きながら左右のプッシャを押してステープルを開放します。プッシャベースは静かに前方へ戻してください。
・ ステープルストッパを押してマガジン後方よりステープルを抜き取ってください。

空打ち防止機構について

・ 本機には空打ち防止機構が装備されています。ステープルの残りが約 5 本になりますと打てなくなります。続けてお使いになる場合はステープルを補充してください。

単発･連続打ちの切替機構

「単発打ち」方法

・ 単発打ちとは、打ち込み対象物にコンタクトアームを押し当て、トリガを引く操作で釘を 1 本ずつ打つことができます。主に仕上げを重視する場合や狙った所に打つ場合に適しています。
・ 切替ロッドを「FREE」の位置にします。
①打ち込み対象物にコンタクトアームを押し当てます。
②トリガを引きます。

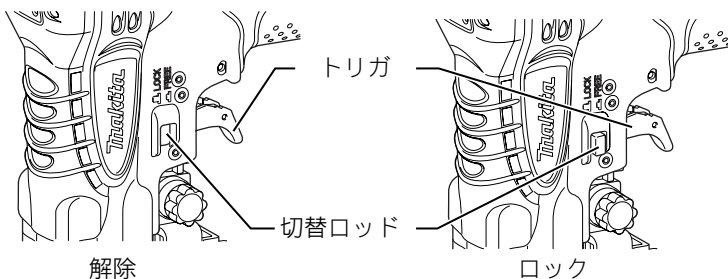
「連続打ち」方法

・ 連続打ちとは、トリガを引いたまま打ち込み対象物にコンタクトアームを押し当てる操作を繰り返すことで、連続的に釘を打つことができます。主に床、壁、屋根などの下地打ちの場合に適しています。
・ 切替ロッドを「FREE」の位置にします。
①トリガを引きます。
②トリガを引いたまま打ち込み対象物にコンタクトアームを押し当てれば、連続打ちができます。

注

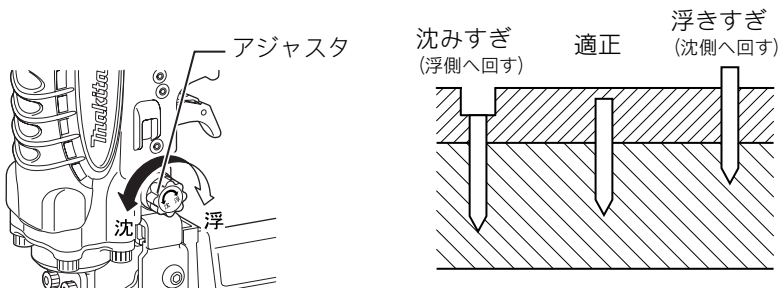
・ **単発打ちでトリガを引いたまま、再度コンタクトアームを打ち込み対象物に押し当てても釘は発射されません。続けて連続打ちする場合は、トリガから指をいったん離してから連続打ちの操作を行ってください。**

トリガロックの操作方法

- 本機には釘打ち作業をしていないとき、誤った操作による事故を防ぐために、トリガロック機構を装備しています。トリガロックとは、トリガをロックし、発射しない状態にする機構です。
- 切替ロッドを「LOCK」の位置にすると、トリガが固定されます。
- 釘を打つときは、ロックレバーを「FREE」の位置にしてください。作業以外はトリガをロックして、エアホースをはずしてください。

アジャスタ（打込み深さ調整）の操作方法

⚠ 警告

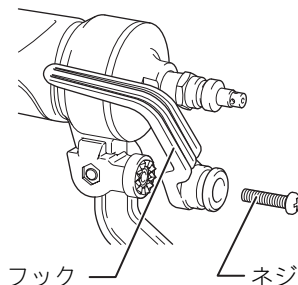
打込み調整の際は、必ずトリガロックをして、エアホースをはずしてください。

- 本機は釘の打込み深さを調整する、アジャスタ機構を装備しています。
- アジャスタを回転させて、打込み深さを調整してください。打込み調整幅は 3 ㎜です。（1 回転で約 0.8 ㎜の調整ができます。）

使い方

フックの使い方

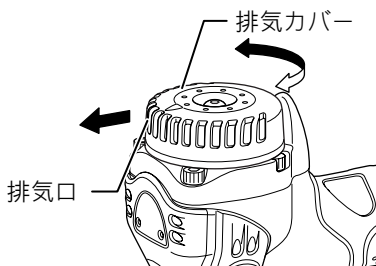
⚠警告

フックの位置を変える場合や、使用の際は必ずトリガロックをして、エアホースをはずしてください。
フックを腰のベルトなどにかけないでください。
・ フックがはずれて本機が落下した場合、誤作動する恐れがあり、事故の原因になります。

・ フックは本機を一時引っかけておくのに便利です。
・ 本機は、フックの取付位置を変更できます。
・ フックを取り付けているネジをはずし、フックの位置を変更して、ネジを締め直してください。

排気の方向について

⚠警告

排気方向を変える場合は、必ずトリガをロックして、エアホースをはずしてください。

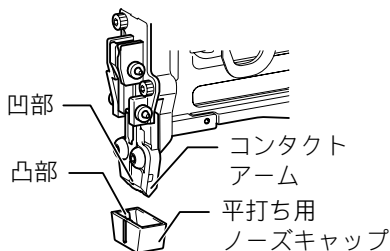
・ 排気の方向は排気カバーを回すことにより360度の範囲で変えることができます。

使い方

平打ち用ノーズキャップの使い方

⚠警告

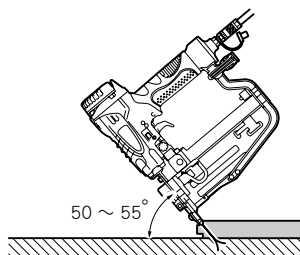
平打ち用ノーズキャップ脱着の際は必ずトリガをロックし本機からエアホースをはずしてください。

・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。

・ 平打ち作業をする場合、コンタクトアームに平打ち用ノーズキャップを取り付けます。
・ ノーズキャップの凸部がコンタクトアームの凹部に合うように差し込みます。

フローリング作業

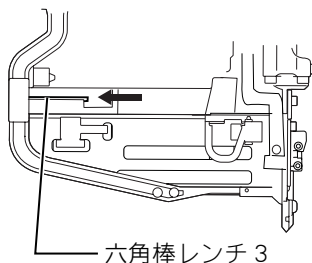
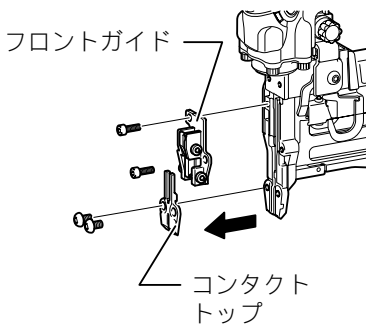
⚠注意

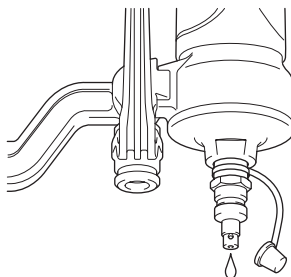
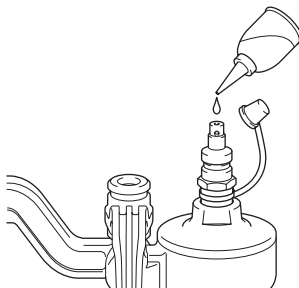
・ 本機を寝かしすぎるとフロア材の表面に膨らみが、また立てすぎると実（さね）の壊れが発生しやすくなります。
・ 本角度にて施工をしても諸条件により、膨らみや実（さね）の壊れが発生する場合がありますので、試し打ちをして確認の上、ご使用ください。

・ フローリング作業のように狙った所にステープルを打つ場合は、単発打ちで作業してください。
・ 本機の角度を図のように50～55°に傾けて打ち込むようにしてください。

釘詰まりの直し方

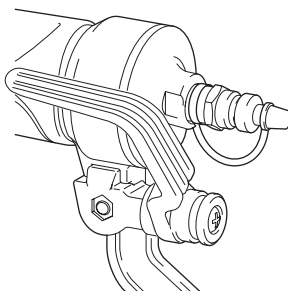
⚠警告

作業に入る前にトリガをロックし、本機からエアホースをはずしてください。

・ 作業に入る前にトリガをロックしエアホースがはずしてあることを確認してください。
・ マガジン後方を下にして、プッシャベースを少し引きながら左右のプッシャを押してステープルを開放します。プッシャベースは静かに前方へ戻してください。
・ ステープルストッパを押してマガジン後方よりステープルを抜き取ってください。
・ マガジンカバー内の六角棒レンチ３収納部から六角棒レンチ３を前方から押して取りはずします。

・ コンタクトトップを固定している２本のネジを六角棒レンチ３で取りはずしてください。
・ ステープルの案内溝が露出するので、詰まったステープルを取り除いてください。
・ 詰まったステープルが取り除けない場合、さらにフロントガイドを固定している２本のネジを六角棒レンチ３で取りはずし、詰まったステープルを取り除きます。

保守・点検について

①水抜きを行う
本機のエアプラグをしばらく下に向け、本機内部に残っている水分をできるだけ除去してください。

②オイルを注油する
本機に付属している油サシ（タービン油 JIS 2 種 ISOVG32）で使用前使用後に 2 ～ 3 滴エアプラグより注油してください。
指定外のオイルを使用すると、故障の原因となります。

③本機の清掃
本機が、埃･木屑･砂などで汚れている場合は、エアダスタで清掃してください。

④エアプラグキャップの使用
本機を使用しない時は、本機内部に異物（ゴミ・埃）が入らないように、エアプラグキャップを装着してください。

⑤作業後の保管
プラスチックケースに収納し、直射日光の当たらない場所に保管してください。

ご修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または裏面掲載の当社営業所にお申し付けください。

全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141
札幌営業所	〈011〉(783) 8141
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849
函館営業所	〈0138〉(49) 9273
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833
北見営業所	〈0157〉(26) 9011
仙台支店	〈022〉(284) 3201
仙台営業所	〈022〉(284) 3201
古川営業所	〈0229〉(24) 0698
青森営業所	〈017〉(764) 4466
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101
郡山営業所	〈024〉(932) 0218
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061
福島営業所	〈0243〉(22) 1204
新潟支店	〈025〉(247) 5356
新潟営業所	〈025〉(247) 5356
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530
山形営業所	〈023〉(643) 5225
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551
秋田営業所	〈018〉(863) 5205
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295
小山営業所	〈0285〉(25) 5559
水戸営業所	〈029〉(248) 2033
土浦営業所	〈029〉(821) 6086
関東物流センター	〈048〉(771) 3451
埼玉支店	〈048〉(777) 4801
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801
川越営業所	〈049〉(222) 2512
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647
越谷営業所	〈048〉(976) 6155
前橋営業所	〈027〉(232) 5575
高崎営業所	〈027〉(365) 3688
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661
千葉支店	〈043〉(231) 5521
千葉営業所	〈043〉(231) 5521
市川営業所	〈047〉(328) 1554
成田営業所	〈0476〉(73) 8101
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908
柏営業所	〈04〉(7175) 0411
東京支店	〈03〉(3816) 1141
東京営業所	〈03〉(3816) 1141
中野営業所	〈03〉(3337) 8431
足立営業所	〈03〉(3899) 5855
大田営業所	〈03〉(3763) 7553
江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171
多摩営業所	〈042〉(384) 8411
立川営業所	〈042〉(542) 1201
横浜支店	〈045〉(472) 4711
横浜営業所	〈045〉(472) 4711
川崎営業所	〈044〉(811) 6167
平塚営業所	〈0463〉(54) 3914
相模原営業所	〈042〉(757) 2501
湘南営業所	〈0466〉(87) 4001
静岡支店	〈054〉(281) 1555
静岡営業所	〈054〉(281) 1555
沼津営業所	〈055〉(923) 7811
浜松営業所	〈053〉(464) 3016
甲府営業所	〈055〉(276) 7212
金沢支店	〈076〉(249) 5701
金沢営業所	〈076〉(249) 5701
七尾営業所	〈0767〉(52) 3533
富山営業所	〈076〉(451) 6260
高岡営業所	〈0766〉(21) 3177
福井営業所	〈0776〉(35) 1911
岐阜支店	〈058〉(274) 1315
岐阜営業所	〈058〉(274) 1315
多治見営業所	〈0572〉(22) 4921
松本営業所	〈0263〉(85) 4751
長野営業所	〈026〉(225) 1022
上田営業所	〈0268〉(22) 6362
飯田営業所	〈0265〉(24) 1636
名古屋支店	〈052〉(571) 6451
名古屋営業所	〈052〉(571) 6451
一宮営業所	〈0586〉(75) 5382
東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072
知多営業所	〈0569〉(48) 8470
岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443
豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117
四日市営業所	〈059〉(351) 0727
津営業所	〈059〉(232) 2446
伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210
京都支店	〈075〉(621) 1135
京都営業所	〈075〉(621) 1135
福知山営業所	〈0773〉(23) 7733
大津営業所	〈077〉(545) 5594
彦根営業所	〈0749〉(22) 6184
大阪支店	〈06〉(6351) 8771
大阪営業所	〈06〉(6351) 8771
東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
関西物流センター	〈0725〉(46) 6715
南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
三木営業所	〈0794〉(82) 7411
尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
神戸営業所	〈078〉(672) 6121
姫路営業所	〈079〉(281) 0204
広島支店	〈082〉(293) 2231
広島営業所	〈082〉(293) 2231
福山営業所	〈084〉(923) 0960
三原営業所	〈0848〉(64) 4850
岡山営業所	〈086〉(243) 4723
宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
松江営業所	〈0852〉(21) 0538
高松支店	〈087〉(867) 6411
高松営業所	〈087〉(867) 6411
徳島営業所	〈088〉(626) 0555
松山営業所	〈089〉(951) 7666
宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
高知営業所	〈088〉(884) 7811
福岡支店	〈092〉(411) 9201
福岡営業所	〈092〉(411) 9201
北九州営業所	〈093〉(551) 3481
飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
長崎営業所	〈095〉(882) 6112
佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
熊本支店	〈096〉(389) 4300
熊本営業所	〈096〉(389) 4300
八代営業所	〈0965〉(43) 1000
大分営業所	〈097〉(567) 3320
宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。

882369B2

株式会社 マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 （代表）